

〔古事記成務〕建内宿禰爲大臣。定賜大國小國之國造。亦定賜略中大縣小縣之縣主也。

〔古事記傳二十九〕大國小國とは、たゞ國々と云ことを文に云るのみなり。後世に、大國、上國、中國、萬葉に、初瀬カタシマ小國などある小國は、ちひさき謂にはあらず、異意なり。祝詞に、奥山乃大峠オホアガタ小峠、また遠山近山爾オホタケル生立流大木小木乎、などある大小の如し、次なる大縣小縣も同じ。略下

〔日本書紀成務〕四年二月丙寅朔詔之曰、略中今朕嗣踐寶祚夙夜兢惕然黎元蠢爾不悛野心是國郡無君長縣邑無首渠者焉。自今以後國郡立長縣邑置首。卽取當國之幹了者任其國郡之首長是爲中區之蕃屏也。

〔日本書紀八仲哀〕八年正月壬午幸筑紫略中筑紫伊覩縣主祖五十迹手聞天皇之行略中參迎于穴門引島略中天皇卽美五十迹手曰伊蘇志故時人號五十迹手之本土曰伊蘇國。

〔日本書紀神功〕九年○仲四月甲辰北到火前國松浦縣略中故時人號其處曰梅豆羅國今謂松浦訛焉伐新羅之明年○元二月皇后之船直指難波子時皇后之船廻於海中以不能進更還務古水門而卜之於是天照大神誨之曰我之荒魂不可近皇居據一本改當居御心廣田國卽以山背根子之女葉山媛令祭亦稚日女尊誨之曰吾欲居活田長峠國因以海上五十狹茅令祭亦事代主命命原作尊據一本改之曰祠吾于御心長田國則以葉山媛之弟長媛令祭。

〔萬葉集雜歌〕幸于吉野宮之時柿本朝臣人麿作。

八隅知之、吾大王之所聞食天下爾國者思毛澤二雖有山川之清河內跡御心乎吉野乃國之花散相秋津乃野邊爾略下

〔萬葉集十三〕隱口乃泊瀬乃國爾左結婚丹吾來者略下

〔古事記成務〕故建内宿禰爲大臣略中定賜國國之堦略下

〔古事記傳二十九〕抑上代の國境の御制は細なる事は詳に知りがたけれども古書どもに事にふ